

草津市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 令和 7 年度取組実績

1. 計画の概要

【目標】

平成 25 年度比で令和 12 年度に 50%以上のエネルギー起源 CO₂を削減すること

【計画期間】

令和 4 年度から令和 12 年度までの 9 年間

【対象範囲】

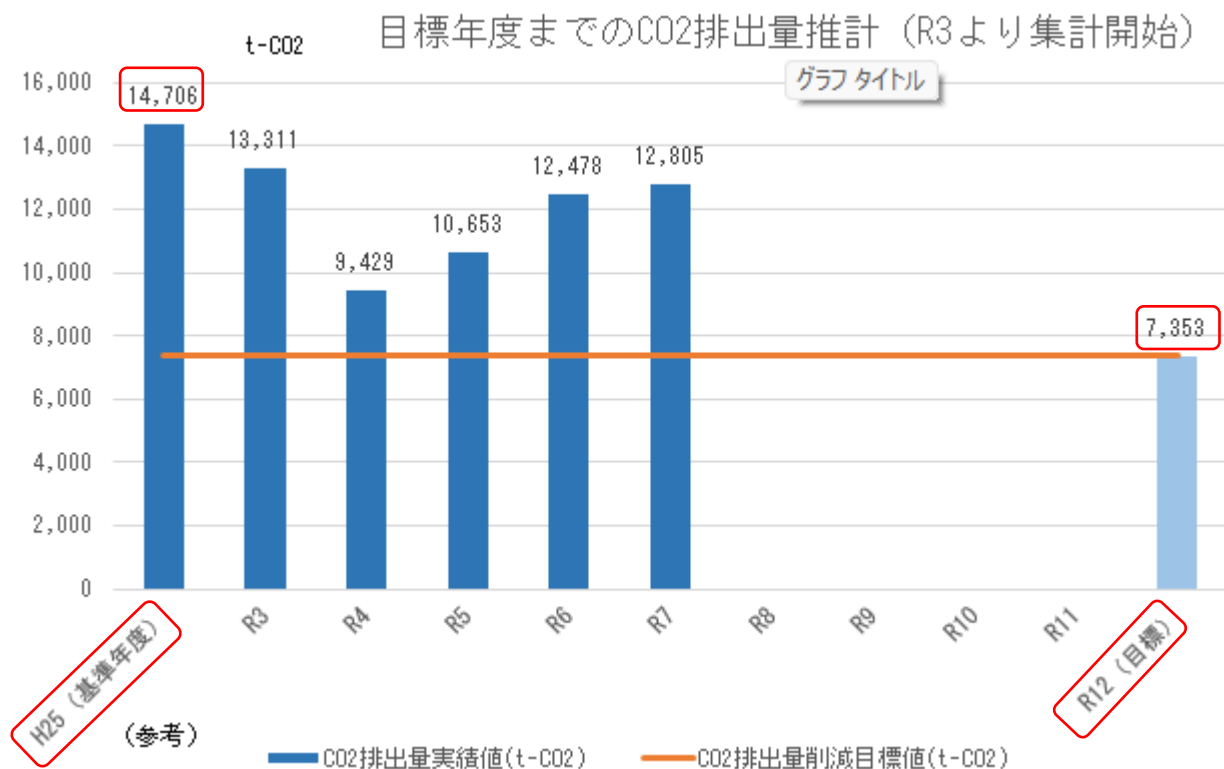
市管理施設において市が実施する事務事業

2. 令和 7 年度実績

【結果】 令和 7 年度エネルギー起源 CO₂排出量 12,805 t-CO₂

【計画目標と令和 7 年度の実績値との比較】

年度	H25 (2013)	R7 (2025)
CO ₂ 排出量実績値「t-CO ₂ 」	14,706	12,805
対 H25 年度比増減率 (%)	基準年度	▲12.9



■分析

【令和7年度 エネルギー使用量の内訳】

エネルギーの種類		エネルギー使用量		差
		R7	R6	
施設	電気 (kWh)	32,088,865	31,082,526	1,006,339
	ガス (m3)	1,662,559	1,519,531	143,028
	液体燃料 (L)	154,223	159,168	-4,945
公用車	電気 (kWh)	4,388	4,205	183
	液体燃料 (L)	51,749	50,426	1,324

【令和7年度 市全体のCO₂排出量と内訳】

エネルギーの種類			CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)		R7構成比	(R6→R7)	(R6→R7)	(R6→R7)増減値及び、その寄与率
			R7	R6		増減率	増減値	
エネルギー起源CO ₂			12,805	12,478	100%	3%	327	327
	施設	電気	8,853	8,814	69%	0%	38	11.7%
		都市ガス	3,325	3,041	26%	9%	284	86.9%
		LPガス	122	108	1%	13%	14	4.3%
		灯油	354	365	3%	-3%	-11	-3.4%
		軽油・BDF	16	16	0%	2%	0	0.1%
		ガソリン	11	11	0%	0%	-0	0.0%
		重油	4	6	0%	-29%	-2	-0.5%
	公用車	電気	0	0	0%	-	0	0.0%
		都市ガス	0	0	0%	-	0	0.0%
		軽油・BDF	12	11	0%	5%	1	0.2%
		ガソリン	108	106	1%	2%	3	0.8%

(備考) ●1%未満は切り捨て

- 全体のエネルギー起源CO₂排出量のうち、各エネルギーの種類が占める割合を示したもの。
大部分を占めているのは電気と都市ガスであり、主に各施設の照明や空調等で使用されている。

上表のとおり、令和7年度は、主に電気、都市ガス、LPガスのエネルギーの使用量が令和6年度より増加し、これに伴いCO₂排出量も増加した。

主な要因として、令和6年8月より草津市立プールが供用開始後、令和7年度に通年供用されたことや、国スポ・障スポ等の大規模集客事業が開催されたくさつシティアリーナのエネルギー使用量が増加したこと、猛暑のため各施設において熱中症対策として空調の使用頻度が増加したことがあげられる。

主な増加理由は、下記のとおり。

電気

【増】草津市立プール 1,211,284kWh 434,332 kg- CO₂ <45.9%増加>

令和6年8月より供用開始後、初めて通年供用されたため。

【増】くさつシティアリーナ 22,914kWh 9,509 kg- CO₂ <4.9%増加>

国スポ・障スポ等の大規模集客事業を開催したため。

ガス

【増】草津市立プール 100,328 m³ 205,672 kg- CO₂ <22.5%増加>

令和6年8月より供用開始後、初めて通年供用されたため。

【増】くさつシティアリーナ 11,225 m³ 23,011 kg- CO₂ <37.8%増加>

国スポ・障スポ等の大規模集客事業を開催したため。

【増】各小中学校 72,260 m³ 148,133 kg- CO₂ <75.6%増加>

令和6年度に各小中学校の体育館等に空調設備の導入が完了し、令和7年度より初めて通年使用したため。

液体燃料（ガソリン）

【増】各所有施設 1,106L 2,895 kg- CO₂ <2.4%増加>

各所有施設において、公用車の利用が増えたため。

一方、主な減少の理由として、令和6年度から令和7年度にかけては、関西電力の排出係数が減少したこと、ごみ発電利活用の開始やLED照明の導入が進んだことによると分析している。

※ごみ発電利活用とLED照明導入によるCO₂削減効果は資料4参照。

<備考>

○草津市立プール…ガスコージェネレーションシステム（都市ガスを燃料として発電し、その際に発生する熱も同時に回収して給湯や冷暖房などに利用するシステム）を採用

○くさつシティアリーナ…電気・ガス空調を採用

○各小中学校…電気・ガス空調を採用

<参考>

※排出係数…CO₂などの温室効果ガス排出量は、直接大気を測定するのではなく、生産や消費などに関する活動量に、単位活動量当たりの排出量（排出係数）をかけて算定する。たとえば、電気の排出係数とは、電力会社・メニューごとに、1kWhあたりの電気を作る際にCO₂をどのくらい排出したかを表す係数であり、電気の使用量（kWh）に排出係数（kg-CO₂/kWh）を掛け合わせてCO₂排出量を算定するために用いる係数である。

	関西電力	エネット
令和6年度	0.419	0.3
令和7年度	0.415	0.3

3. KEMS（草津市役所環境行動マネジメントシステム）

【エコオフィス行動（令和7年度重点取組）】

No.	重点取組項目
1	資料等の印刷・コピーについては、両面印刷や画面集約を活用し、紙の使用量について削減する。
2	コピー機を使わないときは消す、電気をこまめに消すなど、短い時間であっても電気の使用を削減する。
3	物品の購入にあたっては、詰め替え・注ぎ足し可能な製品を想定する。

重点取組項目について、相互点検を実施し、推進員間でエコオフィス行動重点取組項目の周知・推進の方法について議論した。また、エコオフィス行動についてワークショップ形式で話し合った。

【研修・点検・情報公開】

・研修

研修名（目的）	対象	実施日
システム研修 （システムの円滑な実施・推進）	KEMS推進員	令和7年4月30日の午前、 5月1日の午前、午後の計3回
自覚研修 （環境意識の向上、環境行動の実施）	全職員	令和7年8月4日から10月24 日までに各所属において実施

・点検

点検名（目的）	対象	実施日
相互点検 （運用課題の把握、情報交換等）	KEMS推進員	令和7年12月15日午前・午後 の計2回

・情報公開

公開手段	公開元	公開内容
市ホームページ	温暖化対策室	市の事務事業におけるCO ₂ 排出量の推移等
グラフの掲示	市直営の施設	毎月のエネルギー使用量

4. 省エネ法（エネルギー使用の合理化等に関する法律）

省エネ法の規定により、事業者は『エネルギーの使用の合理化』と『電気の需要の平準化』に努めなければならない。その努力目標については、公道を走行する自動車に使用する燃料を除く、一年間の化石燃料由来のエネルギー使用量を『延床面積・ごみ処理量・浄水量』で除したエネルギー消費原単位が指標となる。ここでは、その原単位の推移を示す。

また事業者に対しては評価制度があり、努力目標を達成した事業者は、優良事業者として経産省ホームページで公表される。一方、未達成かつ直近2年連続で原単位が増加しているなど、省エネが停滞・不十分な事業者に対しては指導が行われる。

【努力目標】 エネルギー消費原単位（※）の前年度比増減率が、過去5年度平均で1%以上の低減
※……各種エネルギーがどれだけ効率良く生産に使われたかを見るための指標。以下のように定義される。

$$\text{エネルギー消費原単位 (k\ell)} = (\text{エネルギー使用量}) \div (\text{エネルギー量と密接な関連を持つ値})$$

《市長部局》

過去5年度平均で5.2%の増加であり、努力目標の達成に至らなかった。

【主な理由】

浄水場でのごみ発電電力の活用開始や、各施設へのLED照明の導入が進んだものの、草津市立プールの通年供用開始と、くさつシティアリーナの使用増加や、猛暑により、気温の高い期間が長かったことで、各施設において空調の使用頻度および使用期間が長くなったことが要因として挙げられる。

対象施設等	エネルギー消費原単位の増減率の推移（%）					エネルギー量と密接な関係を持つ値
	R4	R5	R6	R7	平均	
市長部局	1.2	▲3.6	17.9	6.4	5.2	延べ床面積（㎡）・ごみ処理量（t） ・浄水量（千㎡）

※平均は5年間の対前年度比を乗じた結果の累乗根から算出。

《教育委員会部局》

過去5年度平均で2.6%増加であり、努力目標の達成に至らなかった。

【主な理由】

各施設へのLED照明の導入が進んだものの、猛暑により、気温の高い期間が長かったことで、小・中学校、その他施設において、空調の使用頻度および使用期間が長くなったことや、小・中学校の体育館等に整備した空調設備が本格的に稼働したことが要因として挙げられる。

対象施設等	エネルギー消費原単位の増減率の推移（%）					エネルギー量と密接な関係を持つ値
	R4	R5	R6	R7	平均	
教育委員会部局	8.9	▲2.2	1.4	2.8	2.6	延べ床面積（㎡）

※平均は5年間の対前年度比を乗じた結果の累乗根から算出。